

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	やむを得ず一時的に身体拘束を行う場合があるが、家族に口頭では伝えていたが、経過記録を共有する事は出来ていなかった。	一時的に身体拘束が行われた際には経過記録を家族と共有する。	月回の支払時や面会の際に経過記録を提示して共有する。	6ヶ月
2	1	理念に沿った支援が出来ていたか筋目筋目に評価したり、振り返ったりが出来ていなかった。(看取り支援後)	筋目筋目に理念に沿った支援が出来ているか、また看取り支援後も振り返り評価する。	ケア会議の際に4カ月に1回振り返りを行う。看取り支援の場合は支援が終わった後のケア会議で振り返る。	12ヶ月
3	26 10	コロナ禍も有り、なかなか対面での担当者会議が出来ていなかった。また居室での家族との面会がずっと出来ていない。	対面で担当者会議を行い、居室で家族と面会出来るようにする。	家族の面会があった際、プラン更新前等に担当者会議が行えるようにする。また母体病院と歩調を合わせて居室で面会出来る様ににする。	3ヶ月
4	2	少しずつ買い物等に出かけているが、以前は保育園児やボランティアの慰問などもあったがコロナがら類になってからも、地域との付き合いがまだ希薄である。	地域の方々ともっと交流する。	敬老会や町のイベント等に参加し、保育園やボランティアの方に声かけし、利用者との交流を図る。	3ヶ月
5	35 52	ホーム周辺の可燃物や落下物等の点検やホーム内の掲示で古くなって変色した物の見直し等出来ていなかった。(季節毎の装飾の変更は出来ていた)	ホーム内外の見回り点検を行い、明るい職場作りに努める。	ホーム内外を点検し、安全確認を行う。掲示物もい古くなった物は新しい物と交換する。	1ヶ月